

百人一首確認テスト BEST10 発表

百人一首を30首以上覚えてこよう、というのは冬休みの課題の一つでした。その確認テストが月曜と火曜に行われ、百首の下の句がどれだけ覚えられたかの確認をしました。

その結果、4組では目標に達した人は5人でした。もうちょっとだったという人も含めて **BEST10** を発表しましょう。

1	○○	文○	66首
2	○○	○希	41首
3	○○	麻○	36首
4	○○	○え	32首
5	○○	○平	30首

ここまでが目標の達成者です。

しかし、開発さんはすごいね。66首といえは3分の2だよ。もしかして、小さい頃からお家で百人一首をしてきたのかな。

百人一首を覚えておくと、実は高校に入ってから「古文」というお勉強をするときに役に立つんだな。高校でもよく冬休みの宿題になってる。高校生はその意味、文法、作者のことなんか詳しく勉強する。今覚えておくと3年後役に立つこと間違いなしだ。

では続いて目標の達成とまではいかなかったけれど、もうちょっとだった人たちです。

6	○○	○怜	29首
7	○○	○世	27首
7	○○	○司	27首
7	○○	○拓	27首
10	○○	○幸	25首

うーん、みんなおしいね。もうちょっとだよ。まずは覚えやすい和歌から覚えるのがいいね。

では坂根家にゆかりの(?)和歌を紹介しましょう。これ覚えてる?

大江山 いく野の道の 遠ければ まだふみも見ず 天の橋立

小式部内侍 (こしきぶのないし)

【歌の意味】大江山を越え行き、生野(いくの)を通っていく道のりは、はるかに遠いので、まだ、天橋立(あまのはしだて)を踏んでもいませんし、(母からの)手紙も見ておりません。

私の本籍地は京都府与謝郡野田川町です。大江山はそのとなりの町、大江町との境にそびえる山です。坂根家の墓所からは正面に見えます。

大江山といえば酒吞童子(しゅてんどうじ)のお話で有名なんだけど、みんな知ってる?最近の子は「酒吞童子」あるいは「大江山の鬼」あるいは「源頼光(みなもとのらいこう)の鬼退治」なんてお話読んだこともないかな?この大江山には鬼の住んでいたというほら穴とか、鬼をまつる神社なんてある。興味のある人はこのお話を読んでみましょう。

それから天橋立は日本三景の一つです。なかなかきれいなところですよ。山の上から股のぞきをして上下逆さに見るのが通なんだな。

由良のとを わたる舟人 かぢをたえ ゆくへも知らぬ 恋の道かな

曾禰好忠 (そねのよしただ)

【歌の意味】由良の瀬戸を渡る舟のりが、かぢを失って、行く先も知れずたようように、(これからどのようになるのか)なりゆきもわからない(不安なわたしの)恋の道であることよ。

由良川も金沢から野田川町へ向かうときには必ず渡らなければならない川です。京都府の舞鶴市と宮津市の境で、ゆったりと日本海に注ぎます。

この由良川も「安寿(あんじゅ)と厨子王(ずしおう)」のお話で有名です。あるいは「山椒太夫(さんしょうだゆう)」のお話でもあります。ほんと、泣けてくるお話なんだな。小さい頃は、由良川を渡るたびにここは安寿と厨子王がいたところだね、という話を聞いたものです。森鷗外に「山椒太夫」という小説がありますから、中学生ならこのくらいのは読めると思うよ。